

当院にて保管中の凍結細胞の保存期間と廃棄に関するお知らせ

末梢血幹細胞やリンパ球等、当院で保管中の凍結細胞の内、保存期間が15年を超える凍結細胞や、使用しないことが確実な細胞は廃棄とする方針といたしました。廃棄は2021年6月以降に実施します。

【背景と経緯】

九州大学病院では、造血器悪性腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫等）や、重症免疫不全症の患者様に対して造血幹細胞移植を行っており、その件数は10年間で931件となります（2011～2020）。移植医療に用いられる細胞には、患者様ご自身から採取した自己末梢血幹細胞、提供者（ドナー）から採取した同種末梢血幹細胞、あるいは患者様や提供者（ドナー）のリンパ球などがあります。これらの細胞の一部は、移植実施の有無に関わりなく、-80℃の冷凍庫で保管しておりますが、保管細胞が年々蓄積していく中、冷凍庫の容量にも限界があり定期的な細胞廃棄作業が必要となって参りました。

つきましては、保存期間が15年を超えた細胞および使用しないことが確実な細胞に関しましては、2021年6月以降を目処に廃棄いたしますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

以上のことは、当院の輸血療法委員会での承認を受け、患者様を担当していた診療科の医師にも同意を得ております。細胞廃棄に該当する患者様並びにご家族の方、提供者（ドナー）の皆様には、本通知をもって個別なお知らせに代えさせていただきます。今後は、細胞を採取する際の同意取得時に、保存期間や廃棄についてもご説明し、同意をいただく予定としております。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

【お問合せ先】

ご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

九州大学病院 遺伝子・細胞療法部 電話番号 092-642-5947